

六浦中学校ブロック

六浦中学校 六浦小学校 瀬ヶ崎小学校

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小学校と中学校の教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。

六浦中ブロックでも横浜型小中一貫教育に取り組むことで、子どもの学力向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指していきます。

六浦中ブロック小中一貫教育スローガン

小中の9年間で取り組む人権意識と規範意識の育成

【六浦中ブロックの9年間で育てる子ども像】

- 差別やいじめなどの人権侵害行為にであったときには、加担せず「おかしい」と言える子ども
- 「授業」や「なかまづくり」を通して、相手意識や豊かなコミュニケーション力をもつ子ども
- 社会や集団のルールを守り、自律して生活できる子ども
- 六浦のまちとかかわり合いながら、まちを大切にしている子ども

合同授業研究会

3校では、人権教育を中心とした授業研究会を行い、横浜型小中一貫教育を推進しています。小学校と中学校の互いの授業を見合うことで、子どもの人権意識を高めながら、授業中の発言をどのように引き出していくか、学習をさらに深めていくにはどうすればよいか等を研究会の中で話し合っています。



金沢ブロック研修会

3校は、横浜市教育委員会の委嘱を受け、「金沢ブロック」として人権教育を推進しています。大道小・六浦南小もメンバーです。

5月には研修会、10月には大道小学校が、人権教育の柱の一つである「自尊感情」を高める授業実践を目指して、全クラスの公開授業を行いました。

小中合同地区懇談会

6月25日(木)26日(金)の2日間、小中合同地区懇談会が行われました。地域の方・保護者・教職員が各町内会館等を集まり、「挨拶でつなぐ地域と子ども」をテーマにして、子どもたちの様子を中心にしながら話し合いました。挨拶は小学校での取組を経て、中学校での「あいさつ運動」や部活動を通じて定着していくことが大切であり、9年間継続して挨拶に取り組むことが必要であるという方向性を共有することができました。

児童・生徒交流会

10月16日(金)に、六浦小学校と瀬ヶ崎小学校の6年生が、六浦中学校に集まり、今年度の六浦中学校合唱コンクール最優秀クラスの合唱や生徒会による中学校の紹介、吹奏楽部の演奏を聞きました。初めて聞く中学生の美しいハーモニーに圧倒されていた小学生。その後、実際に体験をしながら、部活動の見学を行いました。中学校生活を身近に感じ、中学校への期待を膨らませていました。